

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使うてほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）普及を目指した 「人生会議手帳」開発に関する研究</p> <p>研究の対象 2018年度多職種連携リーダー研修会の参加者（2018年 12月、2019年1月、2019年3月実施）、地域包括支 援システム連絡会研修会参加者（2019年4月、5月、6 月、7月）地域包括支援システム連絡会事業部会及び多職 種連携リーダー研修会合同研修会参加者（2019年8月実 施）、市民モニター研修会参加者（2019年8月実施）</p> <p>研究の目的 現在人生の最終段階におけるアドバンス・ケア・プラン ニング（ACP）の実践が求められています。浜松市では2019 年度高齢者福祉課の事業として地域包括ケアシステム推 進連絡会事業部会を中心に、ACPの実践をサポートする ツールとして「人生会議手帳」の開発がすすめられてきま した。本研究では「人生会議手帳」の開発プロセスをで取 得された既存情報を用いてその過程を分析することを目 的としています。</p> <p>研究の期間 2020年1月～2024年12月</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では、外部への情報提供はありません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： 上記各研修会におけるグループワーク結果及び受講後ア ンケートの回答内容（無記名） 1）（2018年度多職種連携リーダー研修会/2018年12月） 人生の最終段階における住民が受けたい医療・ケアについ</p>

	<p>適切な意思決定を行うために必要な啓発を考えたグループワーク結果</p> <p>2) <u>(2018年度多職種連携リーダー研修会/2019年3月)</u> 人生会議手帳の内容を検討したグループワーク結果</p> <p>3) <u>(地域包括ケアシステム推進連絡会事業部会及び多職種連携リーダー研修会合同研修会/2019年8月)</u> 人生会議手帳の素案についてのグループワーク結果</p> <p>4) <u>(市民モニター研修会/2019年8月)</u> 研修会後の意識の変化及び人生会議手帳の評価についてのグループワーク結果</p> <p>5) <u>(市民モニター研修会/2019年8月)</u> 性別、年齢、家族構成等個人属性、および人生会議手帳の評価についての個別アンケート結果</p> <p>6) <u>(市民モニター研修会の一か月後に実施)</u> 市民モニター研修会一か月後の研修参加者に及ぼした影響についての個別アンケート結果</p>
利用する者の範囲	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者</p> <p>浜松医科大学地域家庭医療学講座 特任教授 井上真智子</p>
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	<p>研究責任者</p> <p>浜松医科大学地域家庭医療学講座 特任教授 井上真智子</p>
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	<p>アンケートは無記名のため、結果の使用を望まない場合に原則としてデータを削除することは困難です。不明な点は、問い合わせ先までご連絡ください。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
資料の入手または閲覧	<p>この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。また、全体的な集計結果の閲覧ができます。</p>
情報の開示	<p>アンケートは無記名のため、個別データの開示はできません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目20番1号 浜松医科大学地域家庭医療学講座 井上真智子 TEL：053-435-2416 FAX：053-435-2417</p>

	E-mail : fammed@hama-med.ac.jp
--	---